

6. 教員研究活動報告

秋庭 裕子

著書

- (1) (共著) Japanese University Leader's Perceptions of Internationalisation: The Role of Government in Review and Support.(co-authored by Yonezawa, A. & Hirouchi, D.)Transnational Higher Education in the Asian Context. pp.15-31. New York: Palgrave Macmillan

論文

- (1) 『『国境をまたぐ能力』の育成を目的とした短期海外研修の学習成果：オーストラリア研修の事例より』『一橋大学国際教育センター紀要』第3号、pp.15-28.

報告

- (1) 「国際プログラムの学習成果分析と E ポートフォリオ：北米東部の 2 大学における運用事例」ウェブマガジン留学交流 2012 年 12 月号
- (2) 「マレーシアの教育事情―留学生受入れ大国を目指して―」ウェブマガジン留学交流 2013 年 1 月号

学会発表

- (1) 「e ポートフォリオを活用した学士課程教育改善の取組と課題：アメリカの大学を事例として」『日本比較教育学会第 48 回大会発表要旨集録』p.83、日本比較教育学会九州大学、2012.6
- (2) Akiba, H., Hirai, T., & Yonezawa, Y. (February, 2013),Global Leadership Education for Competition or Co-existence?: “AIEA Annual Conference: Re-imagining Higher Education in a Global context” , p.100, AIEA Annual Conference, New Orleans, US, February 19, 2013

研究プロジェクト

- (1) 平成 24 年度～平成 26 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「アジア高等教育における透過性（Permeability）のある教育フレームワーク構築に向けた比較研究」（研究代表者：堀田泰司）（研究分担者）
- (2) 平成 23 年度～25 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「国際教育プログラムの質保証と学習成果」（研究代表者：芦沢真吾）（研究分担者）

阿部 仁

口頭発表

- (1) Abe, J., & Sugihara, M.. (2012, May). Vision-Driven Personal Leadership for International Educators: More than Intercultural Competence. Workshop conducted at NAFSA: Association of International Educators Conference, Houston, TX, USA
- (2) International Educators: More than Intercultural Competence. Workshop conducted at NAFSA: Association of International Educators Conference, Houston, TX, USA
- (3) 「留学生宿舎から真の国際学生宿舎へ」、第17回留学生教育学会研究大会、2012.8

論文

- (1) 「留学生寮から真の国際学生宿舎へ:学生寮混住化のケーススタディ」ウェブマガジン『留学交流』2012.9

庵 功雄

論文

- (1) 「文法シラバス改訂のための一試案—ボイスの場合—」『日本語／日本語教育研究』3、pp.39-56、日本語／日本語教育研究会、2012.5
- (2) 「第3回 コピュラをめぐる—「だ」と「是」—」『中国語話者のための日本語教育研究』3、pp.60-64、中国語話者のための日本語教育研究会、2012.7
- (3) 「日本語教育文法の現状と課題」『一橋日本語教育研究』創刊号、pp.1-12、一橋日本語教育研究会、2012.7
- (4) 「指示表現と結束性」澤田治美編『ひつじ意味論講座 6 意味とコンテキスト』pp.183-198、ひつじ書房、2012.11
- (5) 「新しい文法教育のパラダイム構築のための予備的考察」『日中言語研究と日本語教育』5、pp.37-45、日中言語研究と日本語教育編集委員会、2012.12
- (6) 「「日本語」部門—「日本語」研究の再活性化に向けて—」『日本語教育』153、pp.25-39、日本語教育学会、2012.12
- (7) 「日本語教育における「文法」を問い直す」『Romazi no Nippon』663、pp.1-7、日本のローマ字社、2013.1
- (8) 「公文書書き換えコーパスの統語論的分析：受身を中心に」『人文・自然研究』7、pp.4-21、一橋大学、2013.3

口頭発表予稿集

- (1) 「韓国語母語話者による日本語漢語サ変動詞の習得における母語転移に関する一考察」
(高恩淑・李承赫・森篤嗣との共同発表)『言語科学会第 14 回年次国際大会予稿集』
pp.121-124、2012.7
- (2) 「「やさしい日本語」の実相―受身の場合―」『日本語教育国際研究大会名古屋 2012
予稿集第 2 分冊』p.248、2012.8

講演

- (1) 「「やさしい日本語」について、その必要性と実際」栃木県国際交流協会、2012.6.26
- (2) 「日本語教育における「文法」を問い直す」第 3 回くろしお日本語セミナー、2012.10.15
- (3) 「「やさしい日本語」―多文化共生のために私にもできること―」名古屋国際センター、
2012.11.3
- (4) 「「やさしい日本語」で話す」東京都防災セミナー、2012.11.5
- (5) 「「やさしい日本語」の特徴と実際―多文化共生のために私にもできること―」茨城県
国際交流協会、2012.11.26
- (6) 「「やさしい日本語」研究の展開」四日市市、2013.2.7

研究プロジェクト

- (1) 平成 22 年度～25 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「やさしい日本語を用いた
ユニバーサルコミュニケーション社会実現のための総合的研究（研究代表者）」
- (2) 平成 22 年度～25 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「中国国内における日本語
学習者の縦断的中間言語コーパスの構築と動詞の習得過程の解明」（研究代表者：杉村
泰）（研究分担者）」
- (3) 平成 23 年度～25 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「文脈依存の意味情報を判
別する機能表現抽出WEBシステムの開発と運用実験」（代表研究者：松田真希子）（研
究分担者）」
- (4) 平成 24 年度～26 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「日本語を母語としない外
国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」（研究代表者：五味政信）（研究分担者）」

石黒 圭

著書（単著）

- (1) 『正確に伝わる！わかりやすい文書の書き方』pp.1-228、日本経済新聞出版社、
2012.12

論文

- (1) 読解とその教え方を考える』『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』
9、pp.1-18、国際交流基金バンコク日本文化センター、2012.9

- (2) 「談話の『場』によるコ系・ソ系・ア系の指示詞の使い分け」『表現研究』96、pp.3-12、表現学会、2012.10
- (3) 「論文の書き方―査読者との対話としての投稿―」『専門日本語教育研究』14、pp.3-10、2012.12
- (4) 「翻訳した文章を『自然な日本語』にするコツ」『通訳翻訳ジャーナル』252、pp.32-35、イカロス出版、2013.1

講演

- (1) 「独話における接続詞『で』の出現をめぐる」学習者コーパスから見た日本語習得の難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築研究発表会、2012.5.12、国立国語研究所
- (2) 「指示詞の使用に見る独話のジャンル性」第49回表現学会全国大会シンポジウム「広がる指示詞の世界―表現の『場』から指示詞を考える―」パネリスト、2012.6.2、共立女子大学
- (3) 「講義に現れる接続詞と接続助詞―その微妙な関係―」第4回「東西文化の融合」国際シンポジウム講演、2012.6.17、大東文化会館ホール
- (4) 「留学生の文章表現の問題点―書き出しの文をめぐる―」IJS コロキウム 2013-2&KISC 第29回コロキウム講演、2013.3.3、神戸大学

研究プロジェクト

- (1) 平成23年度～25年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「日本語母語話者と中国人日本語学習者の作文・独話・対話に見る接続詞使用の対照研究」（研究代表者）
- (2) 平成23年度～25年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「大学学部留学生のための講義の談話に関する研究」（研究代表者：佐久間まゆみ）（研究分担者）
- (3) 平成24年度～26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」（研究代表者：五味政信）（研究分担者）

今村 和宏

学会発表

- (1) 「日本語教育振興法案骨子の未整理項目から見えてくるもの―新たな展開の可能性」『日本語教育国際研究大会名古屋2012プログラム』p.35、日本語教育学会、2012.8
- (2) 「速読と遅読の共通点と相乗効果―上級学習者の読みの量と質を高める要素」『日本語教育国際研究大会名古屋2012予稿集第2分冊』p.175、日本語教育学会、2012.8

太田 浩

著書

- (1) “Internationalization of Universities in Japan”, In D. K. Deardorff, H. D. Wit, J. D. Heyl & T. Adams (Eds.), The SAGE Handbook of International Higher Education, Thousand Oaks, CA: SAGE Publications, pp.470-472, 2012.10
- (2) 「東アジアにおける高等教育国際化の比較と連携」『アジアの高等教育ガバナンス』、勁草書房、pp.275-300、2013.2
- (3) (芦沢真五、黒田千晴と共著)「日中韓における成績・学位・資格評価と地域的連携」『アジアの高等教育ガバナンス』、勁草書房、pp.172-199、2013.2

学会発表

- (1) “Evaluating Internationalization of University Education in Japan”, p. 27, 24th Annual EAIE (European Association of International Education) Conference, Convention Centre Dublin, Dublin, September 17, 2012.
- (2) “Initiatives on Internationalisation: Measurement and Quality Evaluation”, p. 68-69, APAIE Conference and Exhibition 2013, Asia World-Expo, Hong Kong, March 13, 2013.
- (3) “Using Benchmarking to Enhance Performance in Internationalisation: Cooperation Between Asia and Europe”, p. 92, APAIE Conference and Exhibition 2013, Asia World-Expo, Hong Kong, March 14, 2013.

シンポジウム

- (1) “Recent Development and Issues of International Education (Internationalization) Policies in Japan”, Rethinking of Internationalization of Education: Asian Community and Education, College of Management, Chi Nan University, Puli, Taiwan, April 28, 2012.
- (2) “What Works: Assessment Tools and Indicators for University Internationalization—Panel Discussion—”, TIEC International Symposium, Tokyo International Exchange Center, Tokyo, March 18, 2013.

講演

- (1) 「高等教育のグローバル化と留学（生）」、桐蔭学園フロンティアセミナー、桐蔭学園高等学校・中等教育学校、2012.9.23
- (2) “Globalization and International Higher Education in Japan”, Introduction to Global Studies (IGS200-1), Akita International University, Akita, November 2, 2012.

報告

- (1) 「シンガポールにおける事例：British Council, Singapore」、「シンガポールにおける事例（2）：Austrade Singapore & Australian Education International, Singapore」、『各国政府外国人留学生奨学金等による修了生へのフォローアップ方策に関する調査研究－主要な各国政府、海外の主要大学の取り組み－』、平成23年度文部科学省先導的
大学改革推進事業委託研究、立命館大学、pp.48-52、pp.120-124、2012.5
- (2) “Dispatches from Japan: Thinking Beyond International Student Mobility”, The Guardian, April 23, 2012.
<http://www.guardian.co.uk/higher-education-network/blog/2012/apr/23/japan-international-student-mobility>
- (3) （内藤亜弥子と共著）「留学生教育・支援における企業と大学の連携：韓国を事例に」『留学生教育』17、留学生教育学会、pp.115-123、2012.12
- (4) （太田恵と共著）「Balanced Scorecard の概要と大学における活用事例、及びその課題と国際化評価への応用の可能性」、（長澤誠と共著）「大学国際化の（機関）評価に関する文献解題」、（長澤誠と共著）「Balanced Scorecard の大学における活用に関する文献課題」、『グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究』、2011-2013 年度文部科学省科学研究費補助金研究成果中間報告書、一橋大学国際教育センター、pp.72-97、pp.144-161、pp.162-175、2013.3

事典

- (1) 「外国学歴・資格評価（認証）機関」p. 73、「大学ランキング」p. 258、「ダブル・ディグリー・プログラム」p. 263、「単位互換制度」p. 264、「トウイニング・プログラム」p. 285、「リスボン認証協定」p. 393、『比較教育学事典』、日本比較教育学会編、東信堂、2012.6

研究プロジェクト

- (1) 平成23年度～25年度科学研究費補助金「グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究」（研究代表者）（2011～2013年度）
- (2) 平成23年度～25年度科学研究費補助金「国際教育プログラムの質保証と学習成果分析」（研究分担者）（2011～2013年度）
- (3) 平成22年度～24年度科学研究費補助金「急変する世界環境下での高等教育の国際化に関する総合的研究」（研究分担者）（2010～2012年度）
- (4) 交流協会共同研究助成事業「日台韓留学生受入れ政策の比較研究」（研究代表者）（2012年度）
- (5) 「東南アジアにおける国境を越える高等教育の現状と課題に係る文部科学省・JICA 合同調査」（2012年度）

- (6) IIE Research Project, Institute of International Education “Project Atlas of Student Mobility,” New York, USA (2009-Present)

小林 文生

論文

- (1) 「短期海外研修による教育的効果の再検討 -学生の報告書の多面的な分析を通して-」
『人文・自然研究』7、 pp.162-185、一橋大学、2013.3

五味 政信

翻訳監修

- (1) 『みんなの日本語 初級 I 第2版 翻訳・文法解説 ベトナム語版』スリーエーネットワーク 2012.10

研究プロジェクト

- (1) 平成 24 年度～26 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」（研究代表者）

三枝 令子

論文

- (1) 「介護福祉士国家試験の日本語 -外国人介護従事者にとってのことばの問題-」、
『介護福祉学』Vol.19 No.1、pp.26-33、日本介護福祉学会、2012.4
(2) 「「しかし」と「そして」一言いかえられる場合、言いかえられない場合」『一橋大学国際教育センター紀要』3号、pp.3-14、一橋大学国際教育センター、2012.7
(3) 「常用漢字表の改定が持つ意味」『言語文化』49号、pp.3-15、一橋大学語学研究室、2012.12
(4) 「介護福祉士国家試験の分析」『人文・自然研究』7号、pp.22-41、一橋大学大学教育研究開発センター、2013.3

口頭発表

- (1) 「日本人・外国人介護従事者の共生を目指して」 pp.25,27 第20回日本介護福祉士学会大会発表報告要旨集、京都女子大学、2012.9.23

研究プロジェクト

- (1) 平成 22 年度～平成 24 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「外国人看護師の受け入れ体制整備に関する研究」（研究分担者）
(2) 平成 24 年度～平成 26 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「介護の用語の平易化 -開かれた介護を目指す営み-」（研究代表者）

高濱 愛

論文

- (1) 「米国留学前ソーシャルスキル学習セッション受講生の留学生活—対人行動と対人関係を中心に—」（田中共子と共著）『異文化コミュニケーション研究』第24号、pp.41-63.
- (2) 「アメリカン・ソーシャルスキル学習における演技の他者評価(2)：4つの中・上級スキルに関する学習者のパフォーマンスに対するネイティブのコメントから」（田中共子と共著）『岡山大学文学部紀要』第57号、pp.27-38.
- (3) 「日本人留学生の帰国後のケアを目的とした自助グループ活動セッションの記録(1)—逆カルチャーショックの諸相を中心に—」（田中共子と共著）『一橋大学国際教育センター紀要』第3号、pp.83-91.
- (4) 「日本人留学生の帰国後のケアを目的とした自助グループ活動セッションの記録(2)—逆カルチャーショックへの対応を中心に—」（田中共子と共著）『人文・自然研究』7号、pp.186-199.
- (5) 「日本人留学生の帰国後のケアを目的とした自助グループ活動セッションの記録(3)：キャリア形成の支援を中心に」（田中共子と共著）『岡山大学文学部紀要』第58号、pp.17-26.
- (6) 「在米日本人留学生における異文化適応とソーシャルスキル使用—スキル学習セッション参加者を対象とした縦断調査—」（田中共子と共著）『文化共生学研究』第12号、pp.65-80.
- (7) 「日本人留学生における帰国後再適応に関する研究ノート—留学経験者を対象とした心理教育的セッション参加者の追跡調査から—」（田中共子と共著）『文化共生学研究』第12号、pp.81-98.

学会発表

- (1) 「在日留学生における食の文化受容—異文化滞在者の食育という課題への示唆—」（田中共子と共著）『2012年度異文化間教育学会第33回大会発表抄録』pp.146-147、異文化間教育学会第33回大会、立命館アジア太平洋大学、2012.6.10
- (2) “A Case Study on the Use of American Social Skills by Japanese Students Studying in the U.S.: Based on a Questionnaire Survey Conducted by Japanese Students who Studied in the U.S.” (Proceedings of the 2nd Global Congress for Qualitative Health Research 2012, p231) Second Global Congress for Qualitative Health Research, Universita Cattolica del Sacro Cuore, Milan, Italy, 2012.6.30（平成24年度一橋大学若手研究者国際学会等報告支援経費助成による発表）

- (3) 「在米日本人留学生における留学前・中・後の異文化適応とソーシャルスキル使用—セッション参加事例を対象とした縦断調査—」(田中共子と共著)『第 17 回 JAISE 研究大会プログラム・要旨集』pp.45-46、留学生教育学会第 17 回研究大会、東京外国語大学、2012.8.31
- (4) 「在日留学生における食の文化受容：中国人留学生を中心に」国際委員会企画シンポジウム「近隣国と日本における健康の連続性—Cross-cultural health psychology の示唆—」『日本健康心理学会第 25 回大会プログラム』p.21、日本健康心理学会第 25 回大会、東京家政大学、2012.9.1
- (5) 「在米日本人留学生のソーシャル・サポート・ネットワーク(3)—ソーシャル・スキル人爲学習者におけるソーシャル・サポート—」(田中共子と共著)『多文化関係学会 2012 年度第 11 回年次大会プログラム』pp.96-99、多文化関係学会第 11 回年次大会、関西学院大学、2012.10.20
- (6) 「在日中国人留学生と食の文化受容—日本での食生活に対する満足度—」(田中共子と共著)『多文化関係学会 2012 年度第 11 回年次大会プログラム』pp.100-103、多文化関係学会第 11 回年次大会、関西学院大学、2012.10.20

講演

- (1) 「留学後研修—留学経験を整理しながらキャリア形成を考えよう—」岡山大学国際センター、2012.9.19
- (2) 「ホームステイ受入れのための異文化理解講座（応用編）—家族で進める異文化交流—」神奈川県立国際言語文化アカデミア、2013.2.2
- (3) 「留学準備セミナー—米国の社会的スキルを学ぶ—」岡山大学社会文化科学研究科東アジア国際協力・教育研究センター、2013.2.13

助成金

- (1) 山陽放送学術文化財団平成 24 年度研究助成「在日留学生の食の健康行動にみられる文化受容過程の検討—異文化適応支援のための食育オリエンテーションに向けて—」研究分担者（研究代表者 岡山大学大学院社会文化科学研究科 田中共子）

西谷 まり

論文

- (1) 「言語不安の解釈に着目した日本語教育用 e-learning 教材の開発」教育システム情報学会, Vol.29, No.3、pp.140-151

学会発表

- (1) 「非母語話者日本語教師志望者の教授不安」日本語教育国際大会（名古屋大学）：予稿集第二分冊、pp.324、2012.8.19

- (2) 「外国人日本語教師の不安」日本教育工学会（学芸大学）、日本教育工学会研究報告会報告集、JET12-5、pp.179-184、2012.12

研究プロジェクト

- (1) 平成 23 年度～26 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「非母語話者日本語教師の教授不安に着目した日本語指導方略の在り方」（研究代表者）

二宮 理佳

論文

- (1) 「多読授業が情意面に及ぼす影響—動機づけの保持・促進に焦点をあてて—」（川上麻理と共著）『一橋大学国際教育センター紀要』第3号（通巻15号）、pp.53-65、一橋大学、2012.7
- (2) 「『ええ』の機能に関する考察—文学作品の用例分析を通して—」（金山泰子と共著）『ICU 日本語教育研究』第9号、pp.33-44、国際基督教大学、2013.3

教員の海外渡航

秋庭 裕子

- (1) 2012.7.20～7.23 台湾（高雄、台北）
JASSO 主催日本留学フェアへの参加
- (2) 2012.9.9.～9.18 マレーシア（クアラルンプール）
現地調査
- (3) 2012. 2.16～2.21 アメリカ（ニューオリンズ）
AIEA : Association of International Education Administrators の年次総会参加と発表
- (4) 2012.3.11～3.14 中国（香港）
APAIE の年次総会参加と協定候補校との打ち合わせ

阿部 仁

- (1) 2012.5.24～5.26 米国（Minneapolis）
University of Minnesota で来年度留学予定の学生へのオリエンテーション
- (2) 2012.5.26～6.2 米国（ヒューストン）
NAFSA 年次総会への出席および発表
- (3) 2013.2.10～2.16 スペイン（マドリッド）
短期海外研修（スペイン企業派遣）視察
来年度の短期海外研修プログラム運営についてベルヘ社担当者との意見交換
在マドリッド日本大使館訪問

庵 功雄

- (1) 2012.9.13～9.18 中国
湖南大学での集中講義
- (2) 2013.3.14～3.19 台湾
東呉大学での教育実習打ち合わせと講演

太田 浩

- (1) 2012.4.27～5.3 台湾（台中市）
台湾比較教育学会「教育国際化への反省」への出席と研究発表（「日本の大学国際化の発展と課題」）
台湾側共同研究者との意見交換、及び大学と教育部における留学生受入れの取り組みについての視察と聞き取り調査

- (2) 2012.8.18～8.27 アメリカ合衆国（バッファロー）
科学研究費補助金課題「国際教育プログラムの質保証と学習成果分析」に関する研究
打ち合わせ、調査、及び資料収集
- (3) 2012.9.10～9.16 アイルランド（ダブリン）
EAIE 会議への出席、科学研究費補助金課題「グローバルな競争環境下における大学
国際化評価に関する研究」に関する研究発表、及び欧州大学関係者への聞き取り調査
- (4) 2013.2.16～2.22 アメリカ合衆国（ニューオーリンズ）
AIEA 会議への出席と科学研究費補助金課題「グローバルな競争環境下における大学
国際化評価に関する研究」に関する資料収集
- (5) 2013.3.10～3.15 中国（香港）
APAIE 会議への出席と科学研究費補助金課題「グローバルな競争環境下における大学
国際化評価に関する研究」に関する研究発表（2件）
- (6) 2013.3.24～3.27 中国（香港）
科学研究費補助金課題「アジア高等教育における透過性のある教育フレームワークの
構築に向けた比較研究」に関する香港の主要大学・政府機関への聞き取り調査と情報
収集

小林 文生

- (1) 2013.2.25～3.2 韓国（ソウル）
西江大学 短期海外研修引率及び、次年度以降のプログラム打ち合わせ

五味 政信

- (1) 2012. 11.22～11.26 ベトナム（ハノイ、ホーチミン市）
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問、ベトナム留学フェア参加
- (2) 2012. 12.20～12.24 ベトナム（ハノイ）
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問
- (3) 2013. 3.17～3.24 ベトナム（ハノイ）、中国（北京）
資料収集のためハノイを訪問、教育実習生引率のため北京大学を訪問

高濱 愛

- (1) 2012.6.26～7.2 イタリア（ミラノ）
Second Global Congress for Qualitative Health Research 参加
- (2) 2013.3.4～3.9 オーストラリア（メルボルン）
モナシュ大学における短期海外研修の視察

中村 紗弥子

- (1) 2012.9.7～9.10 韓国（釜山、ソウル）
JASSO 主催日本留学フェアへの参加
- (2) 2013.3.4～3.7 中国（北京）
北京大学、JBIC ほか北京大学における短期海外研修の視察

西谷 まり

- (1) 2012.8.5～8.11 ベトナム（ホーチミン）
ホーチミン師範大学、サイゴンランゲージスクール、ドンズー日本語学校、さくら日本語学校
非母語話者日本語教師志望者の教授不安
- (2) 2013.2.5～2.9 ミャンマー（ヤンゴン）
ヤンゴン外国語大学他
非母語話者日本語教師志望者の教授不安